

和歌山縣報

第三百六十六號

大正五年五月十二日
金曜日

○告示

○和歌山縣告示第一四三號

明治三十五年和歌山縣令第五十號ヲ東牟婁郡新宮町字下熊野地(小字鍋倉ヲ除ク)ニ施行ス
但在來ノ建造物ハ大正八年六月三十日迄ニ改竄スベシ
大正五年五月十二日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

○和歌山縣告示第一四四號

左記狩獵免狀自宅ニ於テ紛失セシ旨届出タリ
大正五年五月十二日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

東第二四號 大正四年十月三十日下附
乙種三等狩獵免狀 壹枚

和歌山縣那賀郡上神野村大字津川
五百八十番地

野手 貞次郎

○町村吏員ノ異動

○大正五年四月二十八日認可

洲草郡川水村助役 平松久光

○大正五年五月一日認可

西牟婁郡三柄村有給助役 三柄晴山

○大正五年五月三日認可

右田郡島屋城村長 森田福一郎
全郡野口村助役 西山徳太郎

○大正五年五月六日認可

那賀郡龍門村助役 松本定治

○大正五年五月八日認可

東牟婁郡勝浦町助役

村田順助

○大正五年五月八日認可

西牟婁郡西富田村助役

尾崎五郎吉

○慈惠救済

○恩賜財團濟生會和歌山市内診療所(自四月一日至四月三十日)三十日間施療成績表

内科男	一五二名	計	三九八名	耳鼻科男	一〇名
内科女	二四名	計		耳鼻科女	四名
眼科男	七名	計	六九名	産婦科男	一名
眼科女	六二名	計		産婦科女	一名
小兒科男	三名	計	三七名	其他男	三名
小兒科女	三四名	計		其他女	三名

○彙報

○官廳事項

○町村一部事務組合設置

日高郡印南町名田村賴原村、切目村、切目川村ノ傳染病院ニ關スル事務ヲ共同處理スル爲組合設置並組合規約設定ノ件本月八日許可セ

○産業

○蠶繭品評會ノ件 本年十月廿一日ヨリ同月廿三日迄大日本蠶糸會富山支會ニ於テ蠶繭製品々評會開催ニ付出品勸誘方同支會ヨリ申越候付出品希望ノ向ハ本縣蠶業取締所へ出品規程ノ交付方申出フルヘシ

外科男 三一名
外科女 三二名
計 六三名

計 男二〇六名
女三七八名
合計五百八十四名

○恩賜財團濟生會和歌山市內診療所(自四月廿一日至四月三十日)十日間施療成績表

內科男	四二名	計	一八九名	耳鼻喉科男	〇名	計	二名
內科女	七七名	計	一八九名	產婦科男	〇名	計	〇名
眼科男	二六名	計	二八名	產婦科女	〇名	計	〇名
眼科女	二六名	計	二八名	其他男	〇名	計	〇名
小兒科男	一〇名	計	一四名	其他女	〇名	計	〇名
小兒科女	一四名	計	一四名	計	〇名	計	〇名
外科男	一八名	計	一八名	男	五四名	合計	百八十一名
外科女	一〇名	計	一八名	女	二七名		

恩賜財團濟生會各都市救療患者表 (大正五年四月中)

病類	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計
第一類 傳染性	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計
第二類 發育及營養的病	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計
第三類 皮膚及筋肉病	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計
第四類 骨及關節病	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計
第五類 血行	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計
第一類 傳染性	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計
第二類 發育及營養的病	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計
第三類 皮膚及筋肉病	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計
第四類 骨及關節病	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計
第五類 血行	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計
第一類 傳染性	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計
第二類 發育及營養的病	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計
第三類 皮膚及筋肉病	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計
第四類 骨及關節病	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計
第五類 血行	市別	男	女	延	海	延	那	延	伊	延	有	延	日	延	西	延	東	延	計

第六類 神經系統及五官諸病	第七類 呼吸器病	第八類 消化器病	第九類 泌尿及生殖器病	第十類 外傷性疾患	第十一類 中毒	第十二類 其他疾患	肺結核	計
三	二	七		一				一八三三五八四五三二〇〇四三三〇二二六六一四〇八四二四〇七四二二三〇三
五	九	六		〇			一	一八三三五八四五三二〇〇四三三〇二二六六一四〇八四二四〇七四二二三〇三
八八	一〇九	一七四		一三			六四	一八三三五八四五三二〇〇四三三〇二二六六一四〇八四二四〇七四二二三〇三
三	二	一	一					一八三三五八四五三二〇〇四三三〇二二六六一四〇八四二四〇七四二二三〇三
八	五〇	二〇	三〇				一一	一八三三五八四五三二〇〇四三三〇二二六六一四〇八四二四〇七四二二三〇三
		二					八〇	一八三三五八四五三二〇〇四三三〇二二六六一四〇八四二四〇七四二二三〇三
		二						一八三三五八四五三二〇〇四三三〇二二六六一四〇八四二四〇七四二二三〇三
		六〇						一八三三五八四五三二〇〇四三三〇二二六六一四〇八四二四〇七四二二三〇三
		四〇					一	一八三三五八四五三二〇〇四三三〇二二六六一四〇八四二四〇七四二二三〇三
三	一	一	二	一			二〇	一八三三五八四五三二〇〇四三三〇二二六六一四〇八四二四〇七四二二三〇三
六〇	二〇	四〇	四〇	二〇				一八三三五八四五三二〇〇四三三〇二二六六一四〇八四二四〇七四二二三〇三
五〇	六〇	四〇						一八三三五八四五三二〇〇四三三〇二二六六一四〇八四二四〇七四二二三〇三
	二〇							一八三三五八四五三二〇〇四三三〇二二六六一四〇八四二四〇七四二二三〇三
一一	五	一三	三	一			二	一八三三五八四五三二〇〇四三三〇二二六六一四〇八四二四〇七四二二三〇三
二七八	二五九	三九四	七〇	一三三			一六四	一八三三五八四五三二〇〇四三三〇二二六六一四〇八四二四〇七四二二三〇三

〇衛生

〇第五〇一五號

上海ニ於ケル本週自四月二日至四月九日(中ノ傳染病狀況ニ關シ當省防疫事務囑託入倉榮暉ヨリ本月十一日附テ以テ左ノ通報告アリタリ(大正五年四月二十日內務省衛生局)

區別 虎列刺 馬チ 子フス 赤痢 ヘスト 痘瘡 猩紅熱 實布 亞利 發疹 計

五

死 者	現 在 者	一 月 以 來 (患 者)	累 計 (死 者)
一	一	一〇	一
二	二	二	二
三	三	三	三
四	四	四	四
五	五	五	五
六	六	六	六
七	七	七	七
八	八	八	八
九	九	九	九
一〇	一〇	一〇	一〇

備考
一、本週ニ於テハ痘瘡患者外國人一名發生セリ本病ハ昨年秋ヨリ現時ニ至ル所謂上海ノ痘瘡流行季節中モ極メテ良好ニ經過シ現今亦格別流行ノ徴候ヲ認メサレハ本年秋季ニ至ル迄ハ盛フヘキ流行ヲ見ルコト無カルヘシ猩紅熱ハ依然患死者多ク赤痢亦漸次増加アリ
二、本期間ニ於ケル各國共同居留地内ノ死者ハ外國人六名支那人百七十一名計百七十七名ニシテ前週ヨリ三名少シ而シテ日本人ノ死者ハ二名ナリ

○大正五年四月二日調本縣ニ於テ生シタル各種傳染病患者數左ノ通り
各種傳染病患者表(自大正五年四月十日至大正五年四月二十日)

郡市名	發病町村數	新患患者	本年初發以來累計患者	死亡	全治	現在
和歌山	二	二	二	二	二	二
海草	二	二	二	二	二	二
那賀	二	二	二	二	二	二
伊都	二	二	二	二	二	二
有田	二	二	二	二	二	二
日高	二	二	二	二	二	二
西牟婁	二	二	二	二	二	二
東牟婁	二	二	二	二	二	二
計	二	二	二	二	二	二

郡市名	發病町村數	新患患者	本年初發以來累計患者	死亡	全治	現在
和歌山	四	四	四	四	四	四
海草	五	五	五	五	五	五
那賀	一	一	一	一	一	一
伊都	一	一	一	一	一	一
有田	一	一	一	一	一	一
日高	一	一	一	一	一	一
西牟婁	一	一	一	一	一	一
東牟婁	一	一	一	一	一	一
計	八	八	八	八	八	八

買 市 的 利 益
 新 患 本年初時以來累計 現在
 和歌山 新者 死亡 全治

計	三〇	五	八	六	一	七	六	一	八
東牟婁	六	一	一〇	二	六	二	二	二	八
西牟婁	三	一	一	三	一	一	一	一	一
日高	六	一	一	五	一	一	一	一	一
有田	八	一	一	七	四	二	一	一	一
伊都	四	一	一	四	二	一	一	一	一
那賀	三	一	一	六	四	一	一	一	一
海草	三	一	一	六	四	一	一	一	一
和歌山	三	一	一	六	四	一	一	一	一

○寄付金募集

○千葉縣香取郡佐原町一七二九番地白井宮右衛門外二名ニ對シ
 縣下ニ於テ寄附金募集ノ件左記ノ通本日許可セラレタリ

- 一募集ノ目的 贈正四位伊能忠敬氣節記念ニ銅像建設ノ爲
- 一募集ノ方法 縣下各小學校其他公私諸學校ニ依頼狀ニ添書ナ
- 一添付送付シ寄附金ヲ募集ス
- 一募集ノ區域 縣下一圓
- 一募集ノ期限 許可ノ日ヨリ滿壹年止
- 一募集ノ金額 金五萬圓 內金一千五百圓ヲ縣下ニ於テ募集ス
- 一募集従業者

千葉縣香取郡佐原町一七二九番地
 平民無業 白井 宮右衛門
 全町一五二五番地

ラ チ フ ス
 新 患 本年初時以來累計 現在
 和歌山 患者 死亡 全治

計	一	一	一	一	一	一	一	一	一
東牟婁	一	一	一	一	一	一	一	一	一
西牟婁	一	一	一	一	一	一	一	一	一
日高	一	一	一	一	一	一	一	一	一
有田	一	一	一	一	一	一	一	一	一
伊都	一	一	一	一	一	一	一	一	一
那賀	一	一	一	一	一	一	一	一	一
海草	一	一	一	一	一	一	一	一	一
和歌山	一	一	一	一	一	一	一	一	一

平民公吏 木内彰太郎
 全町牧野一七七〇番地 齊藤 東二

○山口縣熊毛郡役所内全部教育會長國光五郎ニ對シ縣下ニ於テ左
 記ノ通寄附金募集ノ件本日認可セラレタリ

- 一募集ノ目的 故伊藤公爵遺跡保存ノ爲
- 一募集ノ方法 右保存會趣意書、規程草案並ニ入會申込用紙ヲ廣
 ク配付シテ賛同ヲ求メ寄附申込者ヨリ募集スルモノニシテ之ヲ
- 一爲メ募集員ヲ派遣スルモノニアラス
- 一募集ノ金額 一千圓
- 一募集ノ區域 和歌山縣一圓
- 一募集ノ期限 許可ノ日ヨリ五箇年間

右

○ 廣 告

今回東洋拓殖株式會社ニ於テハ第七回第一種移住民募集ニテ其ノ要項左ノ如シ

移住民の種類

第一種及第二種の別ありて前者は二町歩後者は十町歩の地主となるものなり

第二種移住民に更に移住の場所并に戸數を定め近々募集すべく詳細は其際廣告す

第一種移住民募集

大正六年春移住すべく第一種移住民專に五百戸（約七千五百人）を募集す

地主ごゑる移住民

第一種移住民は元甲種移住民即ち地主となるものにして一戸に付耕地二町歩以内（田一町五六反畑三四反位）を割當て移住後の成績良ければ別に三町歩以内の土地を増加貸付くべし又附近に適當なる造林用地あるとき之を割當つる見込なり尙果樹蔬菜等園藝作物栽培希望者に其事ら畑地のみは割當つべし

割當地は既墾地

割當地は既に朝鮮人の耕作する既墾地にて可成旱害水害の憂少き土地なり北海道の如き未墾地を借りて開墾するにはあらず手入さへ良ければ其年より内地の收穫に近き收穫を得べき見込ある土地なり

割當地の値段

割當地の値段は朝鮮總督の認可を得て之を定む本社の方にて定むるものにあらず從つて附近一般の土地に較べて安くさめ高き譯なし地方に依り又地味に依り多少の相違あるも

大概一反歩田は三四十圓以上百十圓位畑は約其半位なり尤も市街地に接近するか又は特殊の事情ある畑地は稀に一反歩百圓以上になる處あり

安い年賦で済崩す

土地の値段に年六分の利子を加へ元金は五年以内償還さ其後二十年以内に元利金を年賦にて済崩し土地の所有權を得るなり假りに田畑二町歩の値段を一千圓とすれば最初五年間年々利子六十圓宛を後の二十年間は年賦金八十七圓十八錢宛を拂へば済済の上は自分の所有となるべし移住民は年賦金及地稅公課以外に小作料など納むる必要なし

半農半漁の移住民

半農半漁をなす移住民三十戸を募集す漁場は便利なる場所を選び適當の耕地を割當て漁業の傍農業を爲すを得せむ割當面積は一戸六七反歩位にて其他は凡て第一種移住民と異なることなし

團體の移住民

五戸以上由合々團體を組織して移住する者は集團したる場所へ收容す但し其收容地は大抵一團體五戸以上十五戸未満位のものとす

貳百圓以内の移住費

團體移住民（五戸以上）には住家、納屋の建築費、耕牛、農具、種苗、肥料等の移へ費の補助に充つるため各戸に貳百圓以内の移住費を移住後三年以内必要に應じ貸付す利子は年七分とし土地と同様に十五年以内、年賦償還するものなり

耕牛種苗肥料の貸付

車戸移住民には移住費は貸付せざるも耕牛、種苗、肥料、農具等を必要に応じて低利又は無利子にて貸付るべし

北鮮移住民特別補助

平安道及咸鏡道へ移住する者には一般移住民に對する保護以外に特別に朝鮮内釜山より移住地迄の家族一同の汽車船賃貸費を支給し尙住家建築費補助として一月に付金貳拾圓を給與するものとす移住地は他の地方に比し遙く交通便利にして氣候は夏季暑く作物の生育に好適し冬季の寒氣も心配するに及ばず

汽車汽船賃の割引

移住民には汽車汽船賃及地帯貨物運賃の割引券を交付すべし大抵三割乃至五割引なり安泊料は定額より安く特約したる旅館を各地に置き又渡航の時間には便利なる場所に移住民取扱事務所又は案内所を設け諸般世話を行ふべし

移住をさす方面

移住地は裏面に部載の地方より大抵鐵道其他交通の便利よく警察の行届き可成學校の設備ある地方に近き所を選べり

移民の覺悟と用意金

移住民は朝鮮に永住土著して農業に従事するものなるを以て充分の覺悟を要す又移住の旅費移住後の生活費は凡て自分の用意せざるべからず家畜其他の事情に依り一概には云へざるも此用意金少くとも四五百圓以上を要すべし移住費の貸付を受ける團體移住民は三百圓以上の準備を要す

移住の申込と其承認

移住希望者は移住規則第四十四條によりて申込書を作り市區町村役場(朝鮮在住者は府郡廳)に差出すときは申込書に府縣道廳を経て本社に到達する順序なり本社は此申込書を調べた上にて移住認可を決定し通知をなすべし移住承認の通知を受けたるものは家屋家財など賣拂ひ渡航の用意を怠らすべからず旅令輕率に渡航し來るも本社にては世話することを得ず

申込其他の注意

- 一、申込書を現住地の市區町村役場(朝鮮在住者は府郡廳)に差出すときは府縣廳又は道廳を経て本社へ送らるゝ順序なれば直接本社に送らるゝ様注意すること
- 一、申込書には必ず市區町村長(朝鮮在住者は府尹又は郡守)の申込書記載事項(第二第三第五乃至第七)に對する證明書及戸籍謄本を添へること
- 一、團體にて移住申込をなす場合には移住規則第四十六條に據り團體規約と總代人承認請求書を添へること(但し團體は五戸以上に限る事)
- 一、移住申込書第八項には旅費、農具、衣食等準備の程度を一々記入し渡航の際用意具をさすべし用意金高を明記すること
- 一、移住希望地は道新開第一、第二、第三と希望の順序に記入し若し希望地以外にては移住を望まざる場合には其旨を明記し置くこと

諸種の注意

寄集は本社自ら之れを取扱ひ一切仲介者又は周旋人等を設けず移住の申込其他の問合せは直接本社へ申越さるゝか若し最寄市區町村役場、府縣廳に照會せらるゝべし移住規則申込用紙等は申越次第贈呈すべし

第七回第一種移住地及募集戸數 (一五〇〇戸)

京畿道

水	蘇
原出張所	島出張所
無威郡 二〇戸	高陽郡 五九戸 (内團體二〇戸)
龍仁郡 一五戸	楊州郡 四〇戸
開城郡 一二戸	廣州郡 三二戸 (内團體一〇戸)
安城郡 六戸	富川郡 五戸
水原郡 二五戸	
安城郡 六戸	
二一四戸	

忠清南道

水	江
原出張所	景出張所
天安郡 六戸	瑞山郡 四戸
論山郡 四九戸	公川郡 一〇戸
扶餘郡 二二戸	洪城郡 一〇戸
牙山郡 五戸	青陽郡 六戸
扶餘郡 二二戸	
洪城郡 一〇戸	
一一六戸	

忠清北道

水	江
原出張所	景出張所
鎮川郡 五戸	清州郡 七戸
槐山郡 四戸	水同郡 三戸
陰城郡 四戸	
堤川郡 一四戸	
錦山郡 二戸	
四二戸	

全羅北道

金	江
堤出張所	景出張所
高麗郡 四戸	益山郡 二戸
沃津郡 二戸	金堤郡 一六戸 (内團體四五戸)
南原郡 六戸	益山郡 一二戸
安原郡 三戸	益山郡 一〇戸 (内團體五戸)
長水郡 四戸	井邑郡 三八戸
淳昌郡 三戸	扶安郡 六戸
長水郡 四戸	
二〇八戸	

全羅南道

梁山浦出張所

順天郡 二戸
長興郡 一戸
羅州郡 三五戸
潭陽郡 七戸
高興郡 一九戸
咸平郡 二五戸

寶城郡 一四戸
康津郡 二〇戸
光州郡 一五戸
長城郡 一四戸
靈岩郡 一九戸
靈光郡 三戸

一七四戸

慶尙北道

大邱出張所

達城郡 五戸
慶州郡 二七戸
盈德郡 四戸
開豊郡 一戸
金泉郡 四戸
漆谷郡 一戸
善山郡 一二戸

慶山郡 三戸
迎日郡 三戸
尙州郡 四戸
義城郡 一七戸
安東郡 五戸
醴泉郡 三戸

八九戸

慶尙南道

馬山出張所

梁山郡 五戸
密陽郡 一戸
昌原郡 一二戸
陝川郡 三戸
居昌郡 三戸
固城郡 三戸

東萊郡 六戸
金海郡 六戸
昌寧郡 五戸
統營郡 六戸
泗川郡 九戸
河東郡 二戸

八一戸

黄海道

沙里院出張所
森島出張所

鳳山郡 五〇戸
信川郡 六一戸
延白郡 八九戸

載寧郡 一八六戸
蔚山郡 一七戸

四〇三戸

平安南道

平 壤出張所

大同郡 一四戸
龍岡郡 三戸

江西郡 二〇戸

三七戸

平安北道

平 壤出張所

龍川郡 五戸

鉄山郡 五戸

一〇戸

江原道

元 山出張所

通川郡 三一戸 (内團體五戸)

三一戸

咸鏡南道

元 山出張所

安邊郡 二一戸
高原郡 四一戸
德源郡 九戸

文川郡 二一戸
咸興郡 三戸

九五戸

合 計

一五〇〇戸

備考 一、前記職業戸數以外當社移住規則第六條ニ據テ移住民ハ何戸ニテモ其申込ニ應テ

一、全羅南道海州郡(三十戸)ニハ半漁半農移住民ヲ收容ス

一、平安道咸鏡道へ移住スル者ニハ特ニ朝鮮山ヨリ移住地迄ノ家族一同ノ旅費、運船賃賃費ヲ支給シ尙住家建築費補助シテ一戸ニ付金二十圓ヲ給ス

移住申込期限

大正五年九月末日迄

移住承認通知

本社ハ移住承認ノ有無ヲ通知スベシ承認ノ通知ナキ内ハ移住ノ準備又ハ渡航ヲナス可カラズ

移住地到着期限

大正六年二月末日迄

